



What IS IT?

ISIT: Institute of Systems, Information Technologies and Nanotechnologies

INDEX 今号の主な内容

■ FITCOは「福岡DXコミュニティ(略称fdx.community)」と名称変更しました..... P1	■ FiaS Monthly Caféを開催..... P5
■ 地域企業同士がDXを助け合うコミュニティ「One Kyushu DX」始動..... P2	■ 令和4年度「ふくおかAI・DXスクール」開催..... P6
■ 福岡市中小企業等デジタルトランスフォーメーション促進モデル事業..... P2	■ BODIK Utilityについてのご紹介..... P6
■ エンジニアフレンドリーシティ福岡 ハッカソン・コンテストを開催..... P3	■ 山田研究所長がCERI寄付講座で登壇..... P7
■ 脱炭素支援「グリーンイノベーション」部門を新設..... P4	■ SRP Open Innovation Lab(SOIL)のご紹介..... P7
■ よろず相談分析NEXT事業とグリーンイノベーション関連案件の伴走支援について..... P4	■ 福岡市Well-being&SDGs 登録制度「マスター」に登録されました..... P7
■ 小中学生向け夏休み体験実験を開催..... P5	■ 新スタッフ紹介..... P8
	■ 賛助会員のご紹介..... P8

FITCOは「福岡DXコミュニティ(略称fdx.community)」と名称変更しました!

令和4年度

福岡市IoTコンソーシアム(FITCO)は前年度の活動実績、今後の活動方針・計画を報告するため、6月24日にFITCO総会をハイブリッド方式にて開催いたしました。特に本年度は「2021年に開催した第6回「ふくおかAI・IoT祭り」の24セッション中、19セッションがDXに関するものであったこと、また経産省・IPAによる「地方版IoT推進ラボ」も順次「地方版DX推進ラボ」と改称の予定であり、「福岡市DX推進ラボ」となる予定であること、等の状況を鑑みて、関係者と協議の上、コンソーシアム名称を福岡DXコミュニティ(略称: fdx.community)と変更することとなりました。

総会において本コンソーシアムの規約に則り、議案に基づき審議が行われ、ご出席の皆様のご承認をいただきました。

また事務局より、マッチング支援等の活動状況及び、今年度の活動方針・計画を報告し、ワーキンググループの取り組みについては、「DXものづくりWG(事業共創ものづくりWGから改称)」、「医療働き方改革WG」、「Fukuoka Integration X WG」、「QDX WG」および「ドローン利活用WG」の各リーダーより事前にご提出いただいた資料に基づき報告しました。

さらに基調講演として、福岡DXコミュニティ会長の村上和彰氏(九州大学名誉教授、株式会社DXパートナーズ シニアパートナー&代表取締役)に、『「デジタル“アウトオブザボックス”(箱から出て、常識を捨ててデジタルと向き合う)」のすゝめ』と題し、DXの方法論と実践プロセスについてご講演いただきました。次に、川野義広氏(株式会社スカイディスク SaaS事業部セールス&マーケティングチーム)からは、『成果を出すには「スモールスタートDX」!〜製造業におけるDXの進め方とは?スカイディスクの取り組み〜』と題して、製造の現場におけるアジャイルなAI開発によるDXの実例をお話いただきました。

福岡市からは長岡悠子氏(経済観光文化局 創業・立地推進部 新産業振興課長)より『エンジニアフレンドリーシティ福岡に関する取り組み』について、エンジニアやコミュニティの活動拠点であるエンジニアカフェや、昨年度より取り組み始めたIT企業とともに学生を育成するプログラムや、今年からEFCアワードに加わった「プロダクト開発部門」等についてご報告いただきました。



福岡DXコミュニティ会長 村上和彰氏



会場とオンラインのハイブリッド開催

地域企業同士がDX推進を助け合うコミュニティ 「One Kyushu DX」始動！



令和4年度

“One Kyushu DX”（OKDX）は、ISITが代表機関となり地元企業・団体などとともに、令和4年度経済産業省地域DX促進活動支援事業に提案し採択された、全国27プロジェクトのうちの1つになります。地域DXのエコシステムを目指して、DX推進を支援された企業が支援する側に周っていきような相互扶助の関係で、自立自走してDXに取り組める企業を増やしていけるようなコミュニティを企画、運営して行きたいと考えております。主な事業概要は、下記3つです。

《事業概要》

1. 相互扶助型コミュニティ運営：経営者やDX推進担当者の悩みを共有し助言し合えるネットワーク型オンラインコミュニティ(Slackを活用)を組成し、科学的実践方法論を柱としたイベント開催
2. DX推進計画策定：多様な構成員のワークショップを通じてDX推進計画を支援
3. マッチング支援：地域企業とソリューション企業の最適なマッチング機会を提供

本プロジェクトスタートにあたり令和4年8月22日にキックオフイベントを開催し、110名に参加していただきました。キックオフイベントの参加者からは、様々な質問が飛び交い、満足度の高いイベントになりました。イベント参加者の多くの方にOne Kyushu DXコミュニティの会員の申し込みを頂いております。

One Kyushu DXコミュニティでは、様々な業界でのDX推進事例紹介や、DXについての勉強会、毎月第一木曜日にはDXお悩み相談の座談会等を実施して行く予定です。

皆さまのご参加をお待ちしております。

【OKDX会員申し込み】

URL：<https://form.run/@okdx-1660715588>



福岡市中小企業等デジタルトランスフォーメーション 促進モデル事業

令和4年度

ISITは、福岡市とともに、市内中小企業等がデジタル技術を用いて経営基盤強化、ニューノーマルな社会に対応した事業再構築を進めるための補助事業である「福岡市中小企業等デジタルトランスフォーメーション促進モデル事業」を昨年に引き続き実施しています。

本事業はDXのロールモデルとなるような中小企業の取り組みを支援し、広く広報する事で、福岡市内中小企業のDXを促進する事を目的としています。本年度モデルケースとなりうる取り組みの公募を行い、令和4年9月に採択事業者を決定しました。

食品製造・販売、家具製造・販売、アパレル、運輸業という4社のDX取り組みへのモデルケースが採択されました。

ISITは採択事業者に対し、DXの取り組みを円滑に進めるため、伴走支援を行います。

また昨年の11社のDX取り組み結果を福岡市ホームページにて公開しています。



【福岡市DX促進モデル事業】

URL：<https://dxmodel.city.fukuoka.lg.jp/archives/460>



福岡市が取り組む「エンジニアフレンドリーシティ福岡」（以下、「EFC」）では「エンジニアが集まる、活躍する、成長する街、福岡。」をスローガンに、エンジニアと福岡市が協力し、エンジニアがここで働きたいと思うようなまちづくりに取り組んでいます。

EFCは令和4年度から新たに「構想からモノづくりまでを一気通貫で行う」ハッカソン・コンテスト「Engineer Driven Day」（以下、「EDD」）を開催しています。

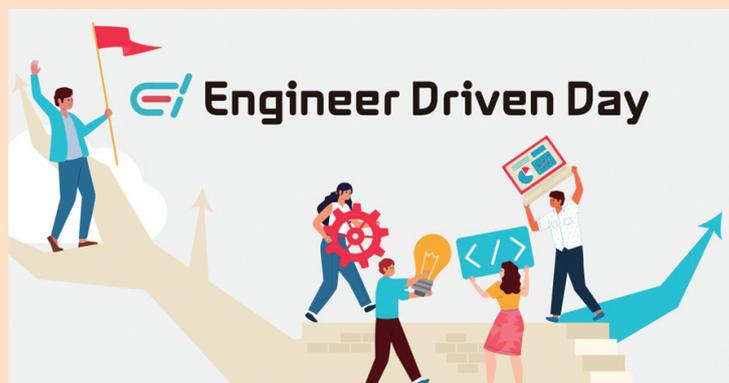
EDDは、エンジニアに興味がある人やエンジニアを目指している人、エンジニアとして活動している人など、学生・社会人を問わず、福岡県にゆかりのある個人・チームが参加できます。応募製品の要件は自ら開発したソフトウェアを含むこと（完成形態はソフトウェアでもハードウェアでもOK）です。

またEDDでは、福岡の企業のエンジニアの方々がメンターとしてハッカソンなどに参加したり、福岡の企業が開発ツールを参加者に提供したりと、参加者がエンジニアコミュニティから強力なサポートを受けることができます。

EDDの製品の応募は10月10日に締め切り、その後、アイデア・技術・プロダクト・成長といった視点で審査を行い、優れたプロダクトを表彰します。



EDDの最新情報はこちらから



EFCでは、「エンジニアが集まる、活躍する、成長する街、福岡」を推進するため、日々知識・技術の習得や技能向上に取り組み、企業や社会等に貢献する福岡のエンジニアの活動をより活発なものとし、またその活動を取り巻く環境を向上させていくことを目的として、EFCアワードを開催します。

令和4年度で4回目となるEFCアワードでは、福岡のエンジニアコミュニティ文化の発展に貢献する「エンジニアコミュニティ」や、エンジニアが働きやすい環境づくりや成長に繋がる取り組みなどを行い、エンジニアを取り巻く環境の充実に取り組む「企業」を表彰するほか、令和4年度からは「プロダクト開発部門」を新設し、EDDで優れたプロダクトを開発した個人・チームを表彰します。

EFCアワードでは、「コミュニティ部門」と「企業部門」にエントリーしたコミュニティと企業の情報を10月中旬から下旬にかけてWEBサイトに公開し、広く一般の方から“いいね”を受け付けます。

ぜひEFCアワードのWEBサイトをご覧ください。取組、活動が素晴らしい!と共感したコミュニティ、企業の”いいね”ボタンをクリックしてください。12月にはEFCアワード3部門の表彰イベントを、福岡市中央区天神のエンジニアカフェで開催する予定です。こちらのイベントもぜひご参加ください。



最新情報、受付は
こちらから



令和3年度エンジニアフレンドリーシティ福岡アワード表彰式

ISITでは、これまでITやナノテクノロジー、有機光エレクトロニクスなどの分野において、先端科学の研究や産学連携を推進するとともに、企業の製品・材料開発などにおける分析・解析に関する課題解決を支援してまいりました。

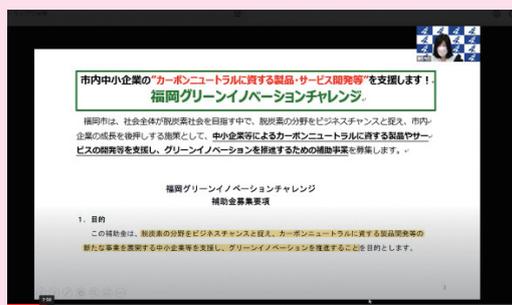
令和4年度より、再エネや省エネなどの脱炭素ビジネスに係る取り組みについて、産学官で連携して支援する「グリーンイノベーション」部門を新設いたしました。

世界的にカーボンニュートラルの先進的な研究を行っている九州大学と連携し、企業の技術支援や課題解決に向けた相談に対応いたします。

具体的な取り組みとして、企業の製品開発などを支援する、分析・解析よろず相談事業「分析NEXT」において、グリーンイノベーション分野の相談体制を強化するとともに、カーボンニュートラルに資する新たな製品やサービス等の開発に取り組む市内の中小企業等への補助事業「福岡グリーンイノベーションチャレンジ」を福岡市と共に実施しています。

福岡グリーンイノベーションチャレンジ補助事業は、令和4年6月1日に公募を開始し、9社から応募があり、5社が採択されました。

応募された事業分野はITシステム開発、脱プラスチック、省エネ技術、CO₂回収技術など多様な事業となっています。採択企業様には令和5年3月31日までの補助事業の実績をホームページ等で公表していただく予定です。



福岡グリーンイノベーションチャレンジ説明会をオンラインで開催



福岡グリーンイノベーションチャレンジ評価委員会オンラインで実施

よろず相談分析NEXT事業と グリーンイノベーション関連案件の伴走支援について

現在、よろず相談「分析NEXT」では、コロナウイルス感染拡大の状況に合わせ、以下の形式にて技術課題相談を受け付けています。

- 1 技術課題に関するよろず相談（メール、電話、WEB会議システムの積極活用）
- 2 分析機器を用いた分析・解析（郵送での分析試料送付でも対応可能）
※福岡市産学連携交流センター（FiaS）設置の分析装置（TEM、SEM、FIB-SEM、NMR、MALDI-TOF-MS）、九州大学の分析装置及びISIT所有の分析装置を使った分析。

また、今年度より始まりましたグリーンイノベーション事業に関連しまして、よろず相談「分析NEXT」ではカーボンニュートラル・グリーンテック関連の相談対応を拡充しており、グリーンイノベーション事業での技術的な伴走支援や近年注目されております環境負荷を評価するライフサイクルアセスメント（LCA）についてのご相談にも対応しております。上記に限らず幅広い分野に対応しておりますので、技術的なお困りごとがありましたらまずはお気軽にご相談ください。

相談窓口（連絡先）Eメール：bunseki@next-soudan.com 電話：092-805-3810

小中学生向け夏休み体験実験を開催

令和4年8月6日

ISITは、九州大学と福岡市産学連携交流センター（FiaS）指定管理者（西鉄ビルマネジメント株式会社）と共同で、小中学生向け夏休み体験実験「小さな生きもの大きな可能性：昆虫に学ぶバイオテクノロジー」を8月6日（土）に開催しました。

新型コロナウイルス感染症対策を徹底の上、親子18組（児童22名）が参加しました。

当日は、まず座学（レクチャー）として、九州大学の神谷 典穂 教授と日下部 宜宏 教授より「ホテルのお尻にまつわるバイオテクノロジー」および「昆虫と私たちの生活 ～ワクチンと昆虫食のお話～」についてご紹介いただきました。

ISITの吉原 大輔 インベーション・アーキテクトからは「顕微鏡で見てみよう！～最先端顕微鏡体験について～」を紹介しました。

続く体験実験では、九州大学主導のもと、ホテルの発光のもととなる酵素を使った実験と、その酵素を応用した目に見えない細菌などを評価するATPふき取り検査試験を行ったり、ISIT主導のもと、電子顕微鏡など最先端の顕微鏡を実際に操作してもらいながら、昆虫などの生き物や身の回りの様々な素材を観察し、ナノの世界を体験したりしました。

3年ぶりの現地開催となりましたが、子供達はもちろん保護者の方からもたくさんの質問をいただき、盛況のうちに終えることができました。



FiaS Monthly Caféを開催

令和4年度

福岡市産学連携交流センター（FiaS）では、入居者の相互交流や、市民・地場企業・大学関係者などの出会いを促進することを目的として、福岡市・ISIT・九州大学・公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構（OPACK）・FiaS指定管理者（西鉄ビルマネジメント株式会社）と共同で、公開形式の交流会「FiaS Monthly Café」を開催しております。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の情勢をみながら、5月よりFiaS交流ホールを聴講・オンライン配信会場とするハイブリッド形式で、下記4名の講師の方々に話題提供いただきました。

- | | | |
|------|-----------|---------------------------------------|
| 第27回 | 令和4年4月22日 | 志賀 匡宣 氏（株式会社同仁グローバル）「試薬開発ーこの混沌としたテーマ」 |
| 第28回 | 令和4年5月27日 | 秋葉 悦男 室長（ISIT）「カーボンニュートラルと水素エネルギー」 |
| 第29回 | 令和4年6月24日 | 星野 友 氏（九州大学）「生体を模倣してカーボンニュートラルを実現する」 |
| 第30回 | 令和4年7月22日 | 興 雄司 氏（九州大学）「有機材料と光学システムの融合研究を振り返って」 |



第28回FiaS Monthly Café（秋葉 悦男 室長（ISIT））の様子

ISITでは、AI技術を使い新たなサービスを生み出すAIエンジニアの育成支援として、令和4年度「ふくおかAI・DXスクール」を8月より随時開講しております。

本講座は、福岡市事業として実施しており、福岡市内に居住もしくは、働いている方は半額で受講できるお得な講座となっております。

今年度は、一般社団法人日本ディープラーニング協会（JDLA）認定資格のG検定・E資格の対策講座を新設しました。ディープラーニングに関する知識を有し、積極的な事業活用を行うジェネラリスト向けの「G検定」と、ディープラーニングを実装するエンジニア向けの「E資格」の取得を目指すことができます。また、これらに合格者は、検定資格合格者専用のコミュニティ「CDLE」（Community of Deep Learning Evangelists）に参加できるようになり、福岡市におけるAIコミュニティの発展が期待されます。どの講座も定員があり、申込みは先着順となっておりますので、お早めにお申し込みください。

※ 研修の詳細はこちら (https://www.isit.or.jp/ai_dx_seminars_r4/) をご確認ください。

本研修に関連して「ふくおかAI・DXスクール キックオフセミナー」（共催：エッジテクノロジー株式会社、後援：一般社団法人日本ディープラーニング協会、九州大学大学院システム情報科学研究院 ADS 育成室、IEEE 福岡支部）を8月2日にオンラインにて開催いたしました。

本セミナーの様子はYouTubeにて限定公開中です。「ふくおかAI・DXスクール」の受講をご検討中の方は是非、弊所HPより登録、ご視聴頂けましたら幸いです。

ふくおかAI・DXスクール

令和4年度 受講者募集中

令和2、3年度に実施し好評いただいた研修を日本ディープラーニング協会認定資格「G検定・E資格」の取得を目指すコースにリニューアル！すべての皆さまに「学び直し」の機会を！





ふくおかAI・DX
スクールHP

BODIK Utilityについてのご紹介

ISITでは、オープンデータがどこにあるかわからない、データのフォーマットが揃っていないために使いにくい、など自治体がオープンデータに取り組むときの課題を解決するために、自治体のオープンデータの取り組みを支援しています。

自治体がオープンデータを公開するためのオープンデータ連携基盤を無償で提供するクラウドサービスであるBODIK ODCSの提供や、オープンデータを公開する時に生じる課題の解決に役立つツールを開発し、「BODIK Utility」として無料で公開しています。BODIK Utilityを使って、オープンデータの公開にお役立てください。

BODIK ODCS : <https://odcs.bodik.jp> BODIK Utility : <https://utility.bodik.jp>

■ BODIK Utilityの主な機能

- ・バリデータ：指定したCSVを推奨データセットと比較して間違っている箇所を指摘する。
- ・ジオコーダ：CSVにある住所を緯度経度に変換する。
- ・マップ：CSVにある緯度経度を使って地図にマーカーを表示する。
- ・簡易エディタ：CSVに簡単な編集機能を提供する。
- ・PDF表変換：文字形式のPDFをCSVに変換する。

■ BODIK Utilityについては、BODIKのWebサイトのブログで簡単な使い方をご紹介します。

BODIKのWebサイト : <https://www.bodik.jp>



ジオコーダ

山田研究所長がCERI寄付講座で登壇

令和4年5月21日

一般財団法人化学物質評価研究機構（CERI）と九州大学大学院工学研究院 応用化学部門による寄付講座（公開講座）「先端材料科学 ～設計、構造・物性から機能化まで～」が福岡市産学連携交流センター（FiaS）交流ホールで開催されました。5月21日（土）には、令和4年度 前期講座（全14講）のトップバッターとして、山田 淳 研究所長が「プラズモンナノ材料」というタイトルで講演しました。当日は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底のもと40名程度の参加者があり、ISIT マテリアルズ・オープン・ラボ（MOL）・ナノ材料グループで研究開発を行っているプラズモンナノ材料の基礎から応用まで幅広く知っていただく機会とすることができました。



SRP Open Innovation Lab(SOIL) のご紹介

令和4年度

SRP Open Innovation Lab (SOIL) は、株式会社福岡ソフトリサーチパークとISITが運営する施設で、福岡SRPセンタービル1階に開設しております。

SOILはオンライン時代に対応した施設で、リモート配信スタジオとハイブリッドイベントスペースがあります。SOILスタジオはオンラインセミナーが実施可能なリモート配信スタジオで、各種機材を揃えており、動画の収録、編集を行う事も可能です。

また、SOIL イベントスペースはオンライン・オフラインのハイブリッドイベントが開催可能なスペースとなっており、企業・各種団体さまにご利用頂いています。SOIL開館の時間帯は、設置機材の利用も含め、無料でご利用可能です。

テレワークに関する相談や、AI・IoT・ビッグデータ・DXなどの技術相談も受け付けています。

ISIT賛助会員様及び福岡SRPセンタービル入居企業様は、利用日の半年前より利用予約が可能です。ぜひ、SOILをご利用ください。



SOIL イベントスペース



SOIL スタジオ

福岡市 Well-being & SDGs 登録制度『マスター』に登録されました!

令和4年度

働く人の Well-being 向上と SDGs の達成に向けて取り組む事業者を福岡市が応援する『福岡市 Well-being & SDGs 登録制度』において、『マスター』に登録されました。ISITは、SDGsに貢献する研究開発事業に取り組むとともに、Well-beingで働きやすい職場環境づくりを目指します。登録事業者一覧は、福岡市ホームページに公表されています。

https://www.city.fukuoka.lg.jp/soki/kikaku/shisei/fukuoka-well-being/master_partner.html



新スタッフ紹介

4月1日より市内企業のグリーンイノベーション推進を図るために新設された産学官共創推進室長（グリーンイノベーション担当）として着任しました秋葉悦男と申します。3月末まで九州大学で特任教授として勤務していました。



7月1日付で(株)DXパートナーズから異動になりました上村幸大と申します。現在は、One Kyushu DXの業務全般を担当しております。以前は、DXの推進計画策定や教育支援をしていました。ISITでは、これまでに培った経験を活かし尽力する所存です。



7月1日から産学官共創支援部長に着任した三和正人です。これまで約10年間九州大学シニアURAとして、大型プロジェクトの企画・構築・運営支援をしてまいりました。ISITの事業推進プラン2026達成を目指し、研究プロジェクト支援や産学官連携事業を推進し、組織内外の連携の推進、科学技術の発展、産業の振興に寄与してまいります。



7月1日からISITオープンイノベーション・ラボに所属します難波健司と申します。出向元の九州電力送配電(株)では基幹送電線の建設業務に携わっていました。ISITでは主に福岡市DX促進モデル事業プロジェクトを担当します。どうぞよろしくお願いたします。



9月1日よりISITオープンイノベーション・ラボに着任しました城戸宏和と申します。IT会社および飲料メーカーで先進的なプロジェクト推進等を行ってきました。今後はISITの一員として、地元福岡の活性化のために活動する所存です。どうぞよろしくお願いたします。



賛助会員《法人・個人》のご紹介

新規賛助会員

■株式会社エムビジネス様

当社は、銀イオン抗菌液剤の施工・販売を行っている企業です。カビ、コロナ対策に対応可能です。

■株式会社Q.E.D.パートナーズ様

一人一人の婚活をチャットを通じてサポートします。

■有限会社キャップ様

樹脂リサイクル用の光学識別と機械装置の研究開発・試作。SDGs達成に向けて技術でお手伝い。

賛助会員募集

ISITでは、賛助会員の募集を行っています。

会員特典

1

ISITの技術コンサルティング料金を割引

会員特典

2

コミュニティスペースや会議室で設備・備品が利用可能

会員特典

3

ISITホームページで紹介（リンク等）

会員特典

4

活動報告書、活動レポートの送付等

詳細はこちらまで！ ISIT総務部

TEL:092-852-3450・FAX:092-852-3455

E-mail:isit-soumu@isit.or.jp

ISITでは、定期交流会や各種セミナーの情報などを配信しております。メールマガジンのお申し込みはホームページからお手続きいただけます。

<https://www.isit.or.jp/about/publication/mailmagazine/>

発行

公益財団法人 九州先端科学技術研究所 ISIT

Institute of Systems, Information Technologies and Nanotechnologies

〒814-0001 福岡市早良区百道浜2丁目1-22

〈福岡SRPセンタービル5階〉

Fukuoka SRP Center Bldg 5F

2-1-22, Momochihama, Sawara-ku, Fukuoka City 814-0001

■ TEL 092-852-3450

■ FAX 092-852-3455

■ URL: <https://www.isit.or.jp>

■ 編集：ISIT総務部

■ 制作：株式会社西日本高速印刷

